

# 行動シナリオの実施状況と今後の展開

## 平成23年度までの主な取組(例)

<p><b>1. 学術の多様性の確保と卓越性の追求</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●民間財団からの寄付獲得による数物連携宇宙研究機構(IPMU)の研究体制の強化</li> <li>●産学官等のプロジェクトを統括するなど、イノベーションをけん引するリーダーを養成するプログラムの推進</li> <li>●研究重点型大学と連携し、科学研究予算システムの改革について政府に要請</li> <li>●リサーチアドミニストレーター(URA)のスキル標準の策定を検討し、URAの配置試行を開始</li> </ul>	<p><b>2. グローバル・キャンパスの形成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●英語で学位の取得できるコースの拡充(31コース)</li> <li>●国際短期プログラムの実施に関する規則を整備し、サマープログラムを実施</li> <li>●海外大学との組織的連携の推進(全学的な学生交流覚書の新規締結の推進、公共政策大学院におけるダブル・ディグリー制の拡充等)</li> <li>●インド事務所を開設し、インド人学生のリクルーティング活動や広報活動を開始</li> </ul>	<p><b>3. 社会連携の展開と挑戦</b> —「知の還元」から「知の共創」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●社会連携を組織的に推進する事務組織として、社会連携部を新設</li> <li>●社会との関わりを深めるための社会連携と国際交流の拠点となる伊藤国際学術研究センターを設立</li> <li>●東日本大震災以降、教員の専門性を生かした支援活動、学生のボランティア活動の継続的実施</li> <li>●東京大学関連ベンチャーの振興、社会的評価の向上(支援ファンドの組成、当該企業の受賞)</li> </ul>
---	--	--

<p><b>4. 「タフな東大生」の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●全学的な教育課題の総点検を実施し、教育改革に関する企画審議体制の整備</li> <li>●女子学生確保の取組の推進(オープンキャンパス女子学生コース、女子高生のための説明会等)</li> <li>●理想の教育棟(第一期)の完成に伴う、アクティブラーニングの展開・推進</li> <li>●「入学時期の在り方に関する懇談会」を設置し、秋季入学移行に向けた報告書の取りまとめ</li> <li>●多様な学生支援の充実(コミュニケーション・サポートルームの開設等)</li> </ul>	<p><b>5. 教員の教育力の向上、活力の維持</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●女性研究者の雇用促進に向けた重点的支援</li> <li>●教員の業績等に関する情報公開を全学的に推進</li> <li>●優秀な若手研究者のポストや人材流動性の確保のため、「特例教授ポスト」を制度化</li> <li>●教員評価制度の運用指針を踏まえた教員評価の推進</li> </ul>	<p><b>6. プロフェッショナルとしての職員の養成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「事務職員等の人事、組織、業務の改善プラン」の見直しを実施</li> <li>●メンタルヘルスケア体制整備のための、従業員支援プログラム(EAP)の導入</li> <li>●年齢・性別に関係なく、有能な若手職員を上位職に昇進できる制度の検討開始</li> </ul>
---	--	---

<p><b>7. 卒業生との緊密なネットワークの形成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●卒業生オンラインコミュニティ「TODAI for Tomorrow(TFT)」登録者向け特典キャンペーンなどの実施</li> <li>●卒業生向けの生涯学習プログラム(「東大ワールドカフェ」「グレーター東大塾」)の実施</li> <li>●SNS(フェイスブック等)を活用した卒業生コミュニティの立ち上げ</li> <li>●外国人同窓生等への情報配信(英語版HP、メルマガ、TFT画面など)の充実</li> </ul>	<p><b>8. 経営の機動性向上と基盤強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本部各課における印刷・製本の実態調査結果を踏まえ、印刷・製本に関する基本ルール策定及び全部局への周知</li> <li>●キャンパス計画要綱に基づく事業の推進</li> <li>●電力危機対策としての節電の推進</li> </ul>	<p><b>9. ガバナンス、コンプライアンスの強化と環境安全の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●組織の見直し、フラット化及び柔軟化について、「検討結果最終報告」の作成</li> <li>●本部における危機管理に係る事務処理要領の策定</li> <li>●コンプライアンス基本規則を制定し、新たなコンプライアンス推進体制を確立</li> </ul>
---	---	--

## 平成24年度以降の主な取組(例)

<p><b>1. 学術の多様性の確保と卓越性の追求</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●国際高等研究所の強化(新たな研究機構等の設置、IPMUの常設機関化及び教員のテニュア化の検討)</li> <li>●学術研究体制の充実を図るため、研究重点型大学との連携を一層強化し、政府に研究財源における規制緩和等を要請</li> <li>●優秀な学生を惹きつけ、高度の教育と研究を融合させ、世界で活躍する優れた研究者を輩出できる環境整備の強化</li> <li>●URAの職種・職域の確立に向けた制度等の検討</li> </ul>	<p><b>2. グローバル・キャンパスの形成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●英語で学位の取得できるコースの拡充(学部初のコース(PEAK)を含め新たに7コースを新設)</li> <li>●海外留学(送り出し)を促進するためのプログラムの充実及び情報提供の強化</li> <li>●海外拠点の一層の活用を通じ、優秀な留学生を獲得</li> <li>●Todai Research等の利用による国際的発信の強化</li> </ul>	<p><b>3. 社会連携の展開と挑戦</b> —「知の還元」から「知の共創」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学内のイベント情報等を東大ウェブサイトを集約し、効果的に発信する機能の強化</li> <li>●伊藤国際学術研究センター・カンファレンスなど、社会連携、国際交流の強化促進</li> <li>●コミュニケーションセンターの運営の活性化と情報発信の強化</li> <li>●産学連携協議会の会員数の増加を図り、産学連携プラットフォームの裾野を拡大</li> </ul>
--	--	---

<p><b>4. 「タフな東大生」の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●秋季入学の検討をはじめ、高度なグローバル人材の育成に向けた総合的な改革の推進</li> <li>●教養教育の高度化や部局横断型の教育の推進</li> <li>●入試及び進学振分け制度の改善の方向の取りまとめ</li> <li>●社会貢献活動、就業体験活動など多様な体験活動の推進・試行</li> <li>●学生相談体制の充実・強化など多様な学生支援の一層整備</li> </ul>	<p><b>5. 教員の教育力の向上、活力の維持</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ファカルティ・ディベロップメント(FD)の基本方針の策定、フューチャーファカルティプログラム(プレFD)の導入</li> <li>●若手研究者の採用を促進する仕組みの導入</li> <li>●外国人教員や女性教員の採用に向けた重点的な取組の推進</li> <li>●教員の活力の維持に向けた新たな制度(テニュア制など)の導入や試行的実施の推進</li> </ul>	<p><b>6. プロフェッショナルとしての職員の養成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「東京大学職員の人材育成の推進体制に関する基本方針」に基づき、具体的な推進体制を整備</li> <li>●総合技術本部において、技術職員全体の資質の向上や部局技術組織の整備支援体制を推進</li> <li>●国際化に対応した職員の資質向上(職員の海外派遣研修、語学力向上に向けたTOEICの有効活用など)</li> <li>●事務の合同化やアウトソーシングの推進</li> </ul>
---	---	--

<p><b>7. 卒業生との緊密なネットワークの形成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●卒業生向けの生涯学習プログラム(「東大ワールドカフェ」「グレーター東大塾」)の充実</li> <li>●SNS(フェイスブック等)を活用した卒業生コミュニティの拡充、外国人同窓生への情報配信の充実</li> <li>●会報誌について、デジタル化を含めた検討・見直し</li> <li>●海外同窓会ネットワークの拡充</li> </ul>	<p><b>8. 経営の機動性向上と基盤強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●施設修繕準備金制度の導入に向けた運用方法の整備</li> <li>●「部局基金」設置の推進等による東大基金の充実・強化</li> <li>●リバースオークションの本格導入及び全学展開</li> </ul>	<p><b>9. ガバナンス、コンプライアンスの強化と環境安全の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●室・本部及び事務組織の全体的な見直し・再編</li> <li>●コンプライアンス教育の充実と部局におけるコンプライアンス体制の整備促進</li> <li>●危機事象への迅速な把握及び的確な処理を行うための対応事例集の作成</li> <li>●災害時に有効な防災体制を検討のうえ、「東京大学の防災対策(冊子)」を改訂</li> </ul>	<p><b>10. 救援・復興支援など日本再生に向けた活動の展開</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●救援・復興支援室登録プロジェクト活動への支援を充実</li> <li>●被災自治体との連携強化による救援・復興活動支援の推進</li> <li>●学生・教職員のボランティア活動参加への支援を推進</li> </ul>
---	---	---	---